

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2018年												2019年													
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月 ~4日	8月 ~11日	8月 ~18日	8月 ~25日	9月 ~1日	9月 ~8日	9月 ~15日
カンピロバクター	37	39	48	105	75	71	122	98	160	113	109	109	56	46	78	65	87	128	102	39	32	11	25	34	30 (35)	20
病原性大腸菌	66	51	44	98	78	83	111	80	73	69	119	157	85	81	77	69	51	59	51	15	15	0	7	9	26 (27)	11
腸管出血性大腸菌	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0
サルモネラ	3	1	1	5	3	20	12	22	13	9	5	13	5	3	11	6	3	11	5	3	0	0	9	3	6 (7)	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	11	7	24	10	10	16	26	20	17	22	19	10	9	12	13	14	24	11	2	6	2	7	3	2 (3)	0
黄色ブドウ球菌 MRSA	12	11	13	12	12	17	14	11	18	7	18	22	22	16	22	14	11	12	18	2	3	2	5	3	5	0
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	7	5	3	1	2	4	2	2	1	3	3	0	0	1	0	0	3	1	0	2	0	0	0	0	3
ロタウイルス	2	11	18	50	10	0	0	0	0	0	0	1	2	3	2	9	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1	3	2	1	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	13	13	17	4	4	2	3	0	0	0	6	23	23	23	11	11	2	5	0	0	0	1	0	0	1	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。
* その他の3件は、アエロモナスでした。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和元年第37週(9月9日~9月15日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	7	結核	7	1		3		2	1	
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1					1		
四類	3	日本紅斑熱	2			1				1
		レジオネラ症	1					1		
五類全数	16	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3	1				1	1	
		侵襲性肺炎球菌感染症	1							1
		水痘(入院例に限る)	1					1		
		梅毒	2				1	1		
		百日咳	9		4			5		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

1. RSウイルス感染症

定点当たり2.88人の報告がありました。前週と比べてやや減少しましたが、例年同時期と比べて多い状況が続いています。

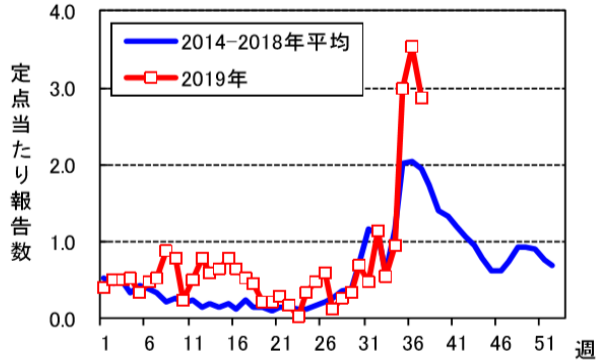
RSウイルス感染症は、乳幼児に多い急性呼吸器感染症です。飛沫感染や接触感染で感染し、軽いかぜのような症状から細気管支炎や肺炎などの重篤な症状までさまざまです。特に、1歳未満の乳児は重症化することがあり、注意が必要です。

手洗いの励行、マスクの着用や咳エチケットなど感染予防対策を徹底しましょう。

2. インフルエンザ

16人(定点当たり0.43人、迅速診断キット:A型陽性11人、B型陽性5人)の報告がありました。

RSウイルス感染症の流行状況



【参考】RSウイルス感染症Q&A(厚生労働省)
https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_qa.html

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平過去5年間(注)	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減
												増減	微増減	
フィリ	インフルエンザ	16	0.43	0.12	◇	小児科	流行性耳下腺炎	3	0.13	0.63		↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減	
小児科	咽頭結膜熱	9	0.38	0.33		眼科	RSウイルス感染症	69	2.88	1.96	◇	↓	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	25	1.04	1.69	⇒		急性出血性結膜炎	-	-	-		⇒	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減	
	感染性胃腸炎	86	3.58	4.47	⇒		流行性角結膜炎	7	0.88	1.28		⇒	ほとんど増減なし	
	水痘	5	0.21	0.42		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-				
	手足口病	45	1.88	2.80	◇		無菌性髄膜炎	-	-	0.06				
	伝染性紅斑	9	0.38	0.16			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.14				
	突発性発しん	11	0.46	0.38			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-				
	ヘルパンギーナ	31	1.29	0.53	◇		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-				

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	121	男性(40歳代)、女性(80歳代)
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	9	男性(30歳代)・O26
4	レジオネラ症	1	18	男性(80歳代)
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	6	男性(80歳代)
5	水痘(入院例に限る。)	1	2	男性(30歳代)
5	梅毒	1	62	男性(50歳代)
5	百日咳	5	67	男性(10歳未満)・2人、男性(10歳代)・1人、女性(10歳代)・1人、女性(30歳代)・1人

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
RSウイルス感染症	発熱(38.9) 上気道炎 熱性痙攣	0	男	2019/07/29	咽頭拭い液	RSウイルス
無菌性髄膜炎	発熱 髄膜炎 嘔気	13	男	2019/08/03	咽頭拭い液	エコーウイルス30型
その他の疾患	発熱(39.5) 意識障害 熱性痙攣	2	女	2019/08/06	咽頭拭い液 鼻汁	パラインフルエンザウイルス3型
その他の疾患	発熱(39.2)	0	不詳	2019/08/08	咽頭拭い液 糞便	エコーウイルス30型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載